

標 題 : Men who consume vegetable oils rich in monounsaturated fat :
their dietary patterns and risk of prostate cancer (New Zealand)
1価不飽和脂肪に富んだ植物油を摂取する男性 :
その食事パターンと前立腺癌のリスク(ニュージーランド)

著 者 : A. E. Norrish, et al. (ニュージーランド オークランド大学)

掲 載 誌 : Cancer Causes and Control 11: 609-615 (2000)

要 旨 :

目 的 : (i)1価不飽和脂肪酸(MUFA)に富んだ植物油の摂取と関連する食事パターン、
および(ii)この油脂の摂取と関連する前立腺癌のリスク、を研究すること。

方 法 : ニュージーランドのオークランドで、前立腺癌の症例 317 人と対照 480 人による住民に基づく症例 - 対照研究を実施した。

MUFA に富んだ植物油(オリーブ油、キャノーラ油、ピーナツ油)の摂取および他の食事変数を、食事頻度アンケートを使用して集めた。

脂肪酸のバイオマーカーを赤血球で測定した。

結 果 : MUFA に富んだ植物油の1日当り通常摂取は5.5ml よりも大きいと報告した参加者群は、1価不飽和脂肪、野菜、リコペン、ビタミン E、セレンおよびn-3系油脂が比較的高い食事を摂取した。

MUFA に富んだ植物油の摂取増加は前立腺癌のリスクの漸減と関連し(多変量相対リスク = 0.5 ; 95%信頼区間 0.3 - 0.9 : >5.5ml/日 対 非摂取、p 動向 = 0.005)、そして全ての社会経済的状況の人々で同様な動向が観察された。

前立腺癌のリスクは総 MUFA の摂取とも主な動物食品由来 MUFA の摂取とも関連しなかった。

結 論 : 抗酸化物および魚油が食事パターンと関連する予防作用、MUFA 成分と無関係な MUFA に富んだ植物油に独自の予防作用、またはその組み合わせによって、この結果が説明されると思う。
